

構造化 スケジュール

いつ どこへいくのか わかる

- *子供にしてほしい活動(期待されている予定)をきちんと伝える！！
- *次の行動が「安全で予測可能」な世界であることを伝える
- *見通しを持つ活動を可能にする
- *自主的・自立的な行動育成と指示待ち予防
- *予め予定を知り混乱予防
- *生活の流れがあることを習慣化

- ・種類 (実物 絵・写真カード 絵と文字 文字カード 文字リスト:手帳 電子手帳etc.)
- ・長さ (次のことだけ 2個/3個/いくつか 半日 全日 一週間～)
 - ・子供に合わせた工夫
 - ・上から下or左から右が基本
 - ・具体的に明確に
 - ・移動時に持ち運ぶか否かを個別に

【はじめの一步はスケジュールから】

by 奥平綾子さん

- ・「絵カード」を作って見せる繰り返しで、絵カードが嫌いになる
- その日のことを伝えさえすればよい⇒いつ楽しみがあるのかわかる

「言って聞かせる」から「見せて伝える」への転換で暮らしが確実に楽になった。

- ・understand わかる
- ・try やってみる
- ・keep 続ける

そのさきに

幸せ happiness

理解しているかどうかのアセスメント

音声言語を載せない、黙って見せる、見せてから声掛けしない、背中を押さない、引っ張らない
⇒声掛けで分かるようになる・・・「声掛け」を待つようになり、「指示待ち・行動障害」へつながる危険性がある

例1：問題行動 or できるにつなげるために試行したことのデータを記録

例2：日誌を付ける（良い行動：青線，気になる行動：赤線，保護者からの情報：緑線を引く）・・・毎日

記録↓具体的支援へ↓包括支援プランへ

8月 30日(金) 天気 ☀・☁・☔・*

<本日の予定> 下校 13:20 36.7℃ ②

AM 4時集合 9=45スタート
9=30 起床
3.4Eニスト (11=45スタート)

PM 11=40 給食中。~ 12=50×4
職会
14=20~
バス会。(3-3)

二休W. 3ヶ月前より。

<右前> 1にいい	<左前> 2つ	<右前> 1と、2nd

<スケジュールの提示> 指導者名() 児童名() 年()

スケジュールの種類	選んだもの&それを選んだ理由	変更しようと思った点
①何で理解するのか 色 具体物 写真 絵 単語 短い文 長い文 複合型(例:絵+文字)等		
②長さ 次の活動だけ first,then~(2個) 3~4個 1日の中の一部 半日 一日 活動場所ごと いくつか ごほうびまで 等		
③タイプ カード or リスト型 上から下 or 左から右 固定型 or 移動型 個々の特性に合わせた型 写真の中の必要部分以外 カット型 カードの形はめ型 おしまい BOX 型 ひっくり返す型 等		
④その他の視点 大きさ(写真や文字) 厚さ フォントや書体 壊れないような工夫 明瞭に 固定の仕方(クリップや マジックテープ) 台紙・ボードの工夫 等		

<スケジュールの写真を貼ってください>